

出世会と市長との「”本気”で語ろう会」会議録

団体名	出世会
日時	令和元年12月17日(火)18時00分から19時30分まで
場所	リナシティかのや 研修室1
参加者	出世会 9名
	市長、商工振興課(課長、課長補佐)、政策推進課
<p>【参加者の意見・要望等】</p> <p>○市街地のにぎわいづくりについて、まちの再生について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜のまちも大分賑わいが戻ってきたと感じている。 ・人を呼び込むには、土地の有効活用や、家づくりの支援なども一つだと思う。損して得を取れではないが、仕掛けづくりをもっと進めていくべきだと思う。 ・空き家が多いのは重要な課題だと感じる。生活インフラが整備された“まちなか”に需要が無いのは不思議でならない。晩婚化の影響もあり、新築で建てるのも難しい時代になっている。リノベーション補助等の検討をしてはどうだろうか。 ・Uターンなどで地元に住んで欲しいのであれば、見せ方も大事になってくる。 ・リナシティはもっと有効活用すべきだと思う。キッチンカーなどを出して週末イベントをすとか、思い切って駐車場を作ってしまうのも手ではないか。思い切って、リノベーションを考えても良いと思う。少しずつやっても変わらない。 ・飲み屋街についても、通りを週末の時間帯で通行止めにして、露店を出すなどの活用も良いと思う。住んでもらうというのは難しいと感じる。 ・住宅が郊外に分散する事をとめるのが難しいのであれば、週末だけでも遊びに来れる環境づくりに目を向けることも大事。 ・定住人口を増やすことは大事だが、来年、市内にホテルが次々に出来ることを考えると、交流人口を増やしていかないといけないと思う。 ・他所からの人に聞くと、鹿屋の食は大満足だが、観光はまだ弱いと聞く。もっと力を入れるべきだと思う。 ・せっかく良いものがあったても、情報を発信しきれていない。観光に関しては、官と民で連携出来たらいいと思う。 ・インフルエンサーではないが、宣伝のプロを使うことも一つの手だと思う。 ・人を集めるためにイベントをするだけでなく、毎週末に常に人が集まる何かがないといけないと思う。 ・もっと子どもが集まる場所を考えていかなければいけないと思う。子どもが集まれば、友達を呼び、親を連れ、拡散する仕組みになると思う。 ・中高生が公共の場でくつろげる場所が無い。 	

- ・市街地の住宅地は、高低差があり、条件もあるため、建て替え等が難しい所もある。
- ・「かのやライフ」というアプリがあるが、非常に便利。ただ、認知度がまだまだ低く、宣伝の方法を考えるべきだと思う。
- ・助成金など、制度を含め、知らない人が多いと思う。情報が欲しい。窓口についても分かりにくい。また、補助金が出るまで、半年、1年は待ってられない。
- ・子育て世代への支援は大分厚くなっていると感じる。
- ・来年開催の国体の色が薄い。携わっていない限り、中々、知らないのではないか。
- ・鹿屋はスポーツが盛んだが、色々な施設が広範囲に多すぎて、中途半端になっていると感じる。
- ・ばら園については、植物の管理など難しいのではないか。現在は、ばらで統一されており、コストがかかっているように感じる。今後は、敷地の一部だけばらにして、その他をドッグランとか、他の植物とか、多様なばら園の利活用について検討するべきではないだろうか。

【市長】

- ・まちづくりは、そこで頑張ってる事業者の意見がどれだけ熱を持っているか、公共がそれをどういう形で支援できるかにかかっている。公民連携で手を取り合っ
て進めていきたい。
- ・まちが移りゆく中、現在は、これ以上広がらないように、多極ネットワーク型コンパクトシティを推進して土地利用の見直し等を行っている。
- ・“まちなか”を中心としたコンパクトシティとするために、インセンティブを考えていく必要がある。
- ・賃貸マンションが出来るなど、まちにも動きがあり、民間の活力を感じる。
- ・リナシティについては、公共スペースとしてどう有効活用していくかが課題。検討委員会などで、アイデアは出るが、具体化するものはまだ少ない。
- ・休日に観光バスを観る機会が少ない。これからは、交流人口に力をいれないとい
けないと思っている。マリンポートかごしまから観光客を受け入れるなど、取組
を進めている。もっと、観光客にフォーカスをあてることが大事（ホテル、お土
産含め）だと思っている。
- ・ターゲットを絞った観光ルートも模索しなければならない。色々なバリエーショ
ンで観光客を迎えたい。
- ・かのやライフはすごく便利で、もっと市民の皆さんに活用していただきたい。
- ・助成金を含めた情報は、HPなどに掲載してあるが、商工会議所、支援センター、
市などに相談していただければと思う。

- 国体はせっかく市外から人が集まるので、宣伝のチャンスとしても捉えたい。
- スポーツ施設については、鹿屋体育大学施設の利活用についても考えている。
- ばら園については、維持管理が大変だというのが実状。咲いている状況で入園料を変更するなど工夫をしているが、今後は、一面ばらにするだけでなく、立体的に飾る、ばら以外の植物で活用するなど、色々な方法を考えていかなければいけないと思っている。
- 今後は、Society5.0（超スマート社会）の時代になる。
- 「自動運転」、「AI 家電」、「遠隔医療」、「ドローン」などが、実社会に入りこんでくる。介護などの人手不足が解消するほか、今まで人の経験に頼っていた部分も、今後は、ロボットにデータを蓄積させれば解決する時代になる。
- 人口減少が問題になっているが、人口増を求める政策はいずれ限界を迎える。人口が減少する中でも、うまくまちが回る社会にしたい。
- 人は誰しも、長生きすることが目標だと思う。そこにフォーカスをあてた「健康長寿のまち」、「心豊かなまち」など、今までとまったく違ったまちづくりをしていかなければならないと思う。
- サブスクリプション（会員制の定額サービス）が広まり、今後、ますます差別化された時代になると思う。